

## アンドリュー・ユー兄弟

### 安息集会

---

「しかしあなたがたは、テモテの良しと認められている様子を知っています。彼は、子が父にするように、わたしと共に福音のために奉仕してきたのです」。

ピリピ 2:22

「わたしは良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。今からは、義の冠がわたしのために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それをわたしに授けてくださいます。わたしだけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます」。

Ⅱテモテ 4:7-8

アンドリュー兄弟によって選ばれた 8 つの詩歌  
(グレーステラスのみかげ石の壁に彫られたものより)

父を礼拝する一命の源として

9(英 12)

- 1 みなもとなるかみよ, ほう富ないのち!  
生けるみずとしながれ, えい遠にいたる!
- 2 子にあり,あいにより, 世びとにながれ;  
あいもたらず,れいとし, わがうちはいる。
- 3 われらはつみに満ち, とおく離れど,  
なれ,子にてあがないなし, いのちをあとう。
- 4 われ,なれをあなどり, 聖霊かなします;  
なれ,なおわが霊に入り, いのちとなりぬ。
- 5 子にあり,れいとして, なれ,はいり来る;  
あぶら塗りはぞう加す, まじわりとおし。
- 6 かみの愛,主のめぐみ, れいのまじわり;  
かみのほう富,えい遠に われらにあとう。
- 7 ちち,子,れいはひとつ, かえりみゆたか,  
ちょう和してながあいを, えい遠に賛美す!

父を礼拝する―彼の新しさ

11(英 16)

1 ちちよ、なれはしんせん、 とわにみどり!

生ける主おとろえなく、 とわにいたる!

(復)ちちよ、なれは新鮮、ふるびはせず!

いくとせ過ぎ去るも、 なおもしん鮮!

2 ちちよ、なれはかみ、また なれは「新」なり;

なれなくばみなふるし、 なれあれば「新」!

3 なれのあとうしゆくふく、 みなあたらしい;

新やく、あたらしいみち、 とわにつづく。

4 あたらしいところ、れい、 あたらしいひと;

日々あたらしくされて、 いのちに満つ。

5 新天新地、新エルサレム、 みなあたらしい;

その実、まいつきみのり、 とわにしん鮮。

6 ちちよ、なれはしんせん、 賛美はやまず;

とわにあたらしいうた、 なれにうたう。

## 父を礼拝する一彼の愛

25(英 30)

- 1 ちちよ,なんという あいあとうや;  
かん謝し,さん美す, なれのすべて。
- 2 みこころ,けい示し, 御むね知らず;  
子にあり来たりて, けいかく成す。
- 3 ながあいゆえ,御子 来たり,死にて,  
おおくの子たちを 世継ぎとする。
- 4 御子を通し,ちちの いのちを持つ;  
神せいなせいしつ, われあずかる。
- 5 ながれいはいりて, アバ,と呼ばせ,  
再せいし,証いんし, つくり変える。
- 6 御子のかたちへと どうけい化し,  
多くの子,栄こうへ みちびき入る。
- 7 つくり変えのため, ばん事そなえ,  
栄光から栄光へと かんせいする。
- 8 ちちよ,なんという あいあとうや;  
感謝し,れいはいす, 賛美はやまじ!

## キリストを経験する一命として

378(英 499)

1 おお何といういのちぞや! おおなんというやすきぞや!

十字架でわれともに, 死にて,いま主はすべて!

主,えい光の事じつあたえたもう, もはや生くるのはわれにあらじ,

わがうちにいますは, 主イエス・キリストなり!

2 おお何というよろこびぞ! おおなんというあんそくぞ!

かたちづくらは, 主なり,いまわがうちに;

いのち,せいしつづくり込まれん, わがすべてことごとく終わりぬ。

主のものすべては, わがすべてとなりぬ!

3 おお何というおもいぞや! おおなんというほこりぞや!

あらわさるは主ぞ, うちにいますキリスト;

死とせい,わざわい,ふくあれど, もはやはずかしめ,われにあらじ;

主はわれによりて, あかしなさしめたもう。

4 おお何というさちなるぞ! おおなんというしゅうかくぞ!

目ざすはまえにある キリストかれご自しん;

他にもとむるたからはあらじ, 主はわがのぞみ,えいこう,かんむり;

すべてをふくむ主, くらぶるものあらじ!

# キリストを経験する一命として

382(英 501)

- 1 栄光なるキリスト,           かみのえい光の表現!  
とわに無限なるかみは,       有限なひととなる。
- (復)かみの化身キリストは,   おく義,ゆたか,エンジョイ!  
聖のせい,ひとのひと,       われ霊で受け継ぐ!
- 2 かみのゆたかさは,           ながうちにやどりぬ;  
にく体もてあがない成し,     いまその霊となる。
- 3 ちちのすべて継ぐ,           なれ,わが霊にありて,  
じっさいのれいとして,       なれを経験させる。
- 4 れいなることばは,           なが実さいもたらず;  
ことば受け,霊触れなば,      わがきょう給となる。
- 5 おおいのないかお,           かがみとし栄光うつし,  
ながかたちにわれ変え,       なれをあらわさす。
- 6 聖となり,勝利得る,          みちはこのほかなし;  
いのち触れ,霊に生きる,      みちはほかになし。
- 7 なが霊しみわたり,           かく部分かみで満つ!  
ふるきひと捨て,ともに       かみの住まいとなる。

栄光の望み—キリストが栄光となる

763(英 949)

1 栄こうののぞみ,      そはキリスト;  
わがれいすでに      さいせいされ,  
いまたましいをつくり変えて,  
わがからださえ      栄光化す。

(復) 主は来て, えいこう化する!

からだも主のよう      へんぼうされる。

からだも栄光化す主は, えいこうののぞみ。

わがえいこう!

2 栄こうののぞみ,      かみのおく義;  
かみのほう満に      あずからせる。  
われらをかみと混ざり合わせ,  
かみのえい光を      得させる。

3 栄こうののぞみ,      わがあがない;  
われのからだを      主はあがなう。  
栄光のかたちに      へんぼうさせ,  
死を飲み尽くし,      かい放す。

4 栄こうののぞみ,      そはキリスト;  
かれ,わがいのち,      わがけいけん,  
えいこう,自由に      われ,もたらし,  
主といちとなる,      えい遠に。



究極的な現れ—聖なる都

775(英 976)

- 1 主はからだ,はなよめをあがないて,  
主のゆたか満たし,主をひょうげんす。  
主はしょう会のすべて,しょうかいは主述べ,  
主がしみわたり,また主とえい光分かつ。

(復)見よ,主のしろ!えい光に満つ!

そはまったきかみのひょう現なり。

- 2 かみとひとが混ざり合うはおく義;  
ひとが栄光に満つかみをやどすは,  
かみのゆたかしめす宇ちゅうのうつわぞ;  
きよさと混ざりつつ,うるわしさ表現す。

- 3 変えられたみの生けるたい系は,  
しん珠や宝せきのとうときがごと。  
かみのみかたちへとかたちづくられる;  
ちゅう心なる御座より生けるみずながる。

(復)キリストなるいのちの木は,

ゆたかにしん鮮な実をむすぶ。

- 4 せい金のしょくだい,あかりは主なり,  
主はかみのえい光,聖れいで照らす。  
ひとはかみに住みて,かみはひとに住む,  
これぞかみの永遠のけいかく,もくてき。

1972年にアンドリュー・ユー兄弟によって書かれた詩歌  
(<https://www.hymnal.net/en/hymn/ns/805>)

1. イエスよ、わたしたちは何とあなたを慕うことでしょう!  
あなたは来て、なおもわたしたちと共にいてくださいます。  
あなたは、わたしたちの花婿、また愛する方であり、  
ただ、この器を満たすことができます。  
そうです、主よ、あなただけが、主よ、  
この器を満たすことができます。
2. わたしを連れて行ってください。最愛の方よ、おお、わたしを連れて行って  
ください!  
あなたの深い同情が今わたしの心、  
意志、感情を揺さぶっています。  
すべての偶像を焼き払ってください。  
焼き、焼き、焼き、焼き、  
すべての偶像を焼き払ってください。
3. あなたの愛情の中でわたしを保護してください。  
単純に純粹にわたしを守ってください。  
天であなた以外のだれも、  
地上でだれも、わたしたちは味わうことを慕いません。  
イエスだけです! 地上のだれも、わたしたちは味わうことを慕いません。
4. 時は瞬間ごと、  
わたしたちの心を毎日あなたに近づけます。  
主よ、わたしたちはあなたを切望します。  
すぐに来てください、今日でさえ!  
アーメン、イエスよ、  
すぐに来てください、今日でさえ!

## マリリン・ユー姉妹が語った証し

こんにちは、わたしはアンドリュー兄弟の妻であるマリリン・ユー姉妹です。わたしたちが共に過ごした時間について少しお話します。アンドリュー兄弟とわたしは、1973年にロサンゼルスに在る召会で出会いました。彼は本当に賢く、楽しく若い兄弟で、主をとっても愛していました。当時、彼は詩歌を書きました。ここでその歌詞を見ることができます[歌詞はパンフレットにあります]。彼は学校に通っている間、ロサンゼルスのある兄弟の家に住んでいました。真ん中に座って赤ちゃんを抱いている姉妹が見えるでしょうか？[写真はパンフレットに含まれていません]。それはクリスティーナ・プーン姉妹です。彼女と彼女の夫のジョージは、これらすべての兄弟と共に一つの大きな家に住んでいました。

わたしたちは1979年に香港で結婚しました。これがわたしたちの写真です[写真はここに含まれていません]。わたしたちは19世紀に建てられた大きな家の最上階に、他の一組の新婚の夫婦と九人の大学生の兄弟たちと一緒に住んでいました。アンドリュー兄弟は、わたしたちが結婚する前に彼がそこに住んでいたのと同じように、わたしもそこに住みたいか、それとも自分たちでアパートを借りたいかとわたしに尋ねました。わたしはそんなに多くの人たちがいる大きな家に住んだことは一度もなかったのですが、それについて祈って考慮し、次のように思いました、「主よ、やってみます。ロサンゼルスでのプーン家と同じように、うまくいくかもしれません」。それはすばらしいものでした。それは繁栄した召会生活でした。そして次の年、わたしたちは兄弟たちではなく、九人の大学生の姉妹たちと生活しました。二十五年後、わたしたちがアンドリュー兄弟の癌治療のために香港に戻った時、わたしたちと一緒に住んでいた人たちの何人かがわたしたちを訪ねて来ました。わたしたちはずっと彼らに会ったり、話したりしていませんでしたが、彼らが部屋に入って来た時、まるで一日も過ぎていないかのようでした。

わたしたちがその時間を一緒に過ごし生活できて、わたしはとてもうれしかったです。

わたしたちが結婚したとき、わたしは彼が全時間で奉仕をするだろうとは思っていませんでした。おそらく彼は全時間で奉仕をすると思わなかったもので、わたしにそうしたい

とは決して言いませんでした。しかし、そう思った時、彼はまだ学校にいた時に、兄弟たちの所に行き、全時間で主に仕えたいと言ったとわたしに説明してくれました。彼らは彼に教育を受けるべきであると言いました。ですから、彼は教育を受けました。二つの修士号と博士号の一部のプログラムの後、彼は兄弟たちの所に行き、全時間で奉仕をしたいと再び言いました。しかし、兄弟たちは彼が仕事に就くべきであると言いました。それで彼は仕事に就きました。わたしたちが結婚した時、わたしが知っていたのは、彼がコンピューター業界で働いていて、主をととても愛していたということだけでした。

香港では、彼は召会における数人の若い責任者の兄弟の一人でした。彼は毎晩、毎週末に彼らと同じように奉仕し、ある集会所から別の集会所へと大都市を旅行し、交代でメッセージをしました。

その年に中国が再び開き始めたので、彼はまたときどき中国本土に行き、供給をしました。わたしたちが結婚してわずか二か月後、彼は中国に行き、六週間滞在して訓練を持ちました。それらの愛する信者たちは、何年もの間、務めや聖書にさえも触れていませんでした！彼らは主の御言葉に対する飢きに耐えていました！そして彼が香港に戻った後、それらの聖徒たちは最も厳しい迫害を受けました。それはスミルナに在る召会が経験したようなものであったに違いありません。それ以来、彼が個人的に供給した人たちが殉教したり、投獄されたりしたことを知って、どれほど彼が苦難を担ったことかとわたしは思いました。わたしが思うには、それは彼を悲しみの人に、主のように悲しみを知っていたはずでしたが、彼はそれについて決して不平を言いませんでした。彼はわたしを保護するために、おそらく不平を言わなかったのでしょう。おそらく、それは彼を動機づけて、決してとまることなく主に仕え続ける動機の一部でした。

当時、巨大な多国籍企業での仕事は儲かっていて、引く手あまたでした。アンドリュー兄弟は巨大な製造業者であるフィリップスの職を提供されましたが、召会における彼の夕方と週末の奉仕を続けることは不可能だったでしょう。ですから、彼はいわゆる「一生に一度のオファー」を手放しました。わたしは気にしませんでした。わたしは彼がどのように彼の人生を生き抜くか彼を観察していました。わたしたちが最初の子供を産んでから、彼は実際に全時間で奉仕をするように召されました。

それから、1980年代に台北で全時間訓練が始まり、わたしたちはそこに引っ越し

した。それはすばらしいものでした。それが終わってわたしたちがアメリカに来た時、彼はギリシャ語の学位を取得するために学校に行くか、リビングストリームミニストリーで奉仕するかを決めようとしていました。わたしは、彼が静かで学術的な生活を望んでいるのではないかと思っていました。彼はそれがとても得意でした。しかし、結局のところ、彼はギリシャ語を学びませんでした。そうではなく、彼はリビングストリームミニストリーの経営者として奉仕をしました。ある日、わたしは彼に尋ねました、「経営者になるのはどのような感じですか?」。彼は言いました、「わたしは仕事に行きます。そして一日中、人々はわたしに彼らの問題を告げます。そしてわたしはそれらを解決することができません」。何を言うことができるでしょうか? 人々は牧養を必要としています。わたしたちはみな、だれかがそこにいてわたしたちの問題に耳を傾けてもらうことを必要とします。主はそれをするためにだれかを必要としていました。

全時間訓練が 1989 年にアメリカで始まり、彼もそこで奉仕をしました。ロシアが福音に開かれた時、そこに行きたい人たちのための訓練がありました。アメリカとロシアとの間の往来が増え、しばらくして二人のロシア人の姉妹が初めてアナハイムを訪れ、夕食のためにわたしたちの家に訪ねて来ました。ある人は彼女たちがユウオデヤやストケのようであると告げましたが、わたしには彼らを助けるために何をすべきかわかりませんでした。わたしがしたのは、夕食をごちそうすることだけでした。アンドリュー兄弟はテーブルの上座に座って、会話を主導しました。言葉では言い表せない緊張感にもかかわらず、雰囲気は暖かく、幸いでした。会話の終わりに、アンドリュー兄弟は言いました、「リー兄弟は、クリスチャンに対する最高の要求は、互いに一になることであると言いました」。それが彼の牧養の方法でした。

家ではアンドリュー兄弟はわたしを批判せず、わたしを牧養しました。わたしはいつも彼の所に行って、彼に質問することができるように感じました。それが最大の牧養でした。わたしは決してそれが忘れられません。忠信な牧者をわたしに与えてくださって主に感謝します。

また、彼は本当に歴史好きでした。彼はヨーロッパの教会歴史にとって重要な場所を見たかったのです。ですから、わたしたちは 1990 年代に、他の聖徒たちと一緒にワゴン車でヨーロッパツアーをしました。子供たちはホームスクーリングをしていたので、子

供たちも来ることができて、わたしはとても嬉しかったです。旅程は、ウェスレーが救われたアルダースゲート、英国ブラザレンが集会していた場所、聖徒たちが殉教したゲントの城、ルターが95か条の論題を投稿したヴィッテンベルク、モラビア兄弟団がいたヘルンフートなどが含まれていました。

彼はヨーロッパよりもイスラエルにさらに興味を持っていました。わたしたちは1982年に初めてイスラエルに旅行をし、彼とわたしが両方とも同じ時に仕事で海外に行った時、わたしたちはその機会を利用してイスラエルで一週間を過ごしました。それらの旅行から、彼がヨーロッパとイスラエルに導いた多くのツアーがありました。2013年に彼は若者たちをイスラエルに連れて行きました。山上での教訓が語られた丘を登り、キブツに行き、若い移民たちが高校を卒業してイスラエル社会に溶け込むためのカデシバルネアの近くの全寮制学校を見学し、毎朝、朝食のビュッフェに新鮮な野菜を出すユースホステルに滞在し、発掘調査に参加しました。わたしたちの娘のチームは実際に遺物を掘り起こしました。それは非常に興奮させるものでした。

彼はアジアに何度も旅行をして供給しました。彼の健康が衰えた後、彼は旅行はしませんでした。わたしたちは依然として朝食や昼食のためにグレースガーデンの訓練生の家に行って交わりました。彼は本当に音楽が好きだったので、ときどき訓練生をわたしたちの家に招いて、楽器を演奏させました。彼の活力が本当になくなったとき、彼はなおもわずかな力を費やして兄弟たちとのズームミーティングをしたり、参考文献、シヤフのキリスト教会の歴史を中国語に翻訳したりしました。

ご視聴ありがとうございました。

## 創世記ライフスタディ、第 59 編

第22章の終わりで、アブラハム、サラ、イサクはベエル・シバに住んでおり、疑いもなく、契約の井戸と御柳の木の近くで生活していました。これは召会生活の縮図でした。なぜなら、召会生活は常に、生ける水の井戸と御柳の木のそばにあるからです。突然、第23章の初めにサラの死が告げられています。アブラハム、サラ、イサクはベエル・シバで生活していましたが、彼女はヘブロン、神との交わりの場所で死に、葬られました。サラはベエル・シバからヘブロンへ前進しました。同じように、もし主が彼の再来を遅らせられるなら、わたしは召会生活の中で生活し、神との交わりの中で死にたいのです。

地図によれば、ヘブロンは南のベエル・シバと北のエルサレムの間にあります。それはベエル・シバから、エルサレムがあるモリヤへの途上です。もし主が彼の再来を遅らせられるなら、わたしは新エルサレムへの途上にある場所に葬られたいのです。あなたは今日どこで生活しているのでしょうか？ わたしたちはみなベエル・シバで、生ける水の井戸と御柳の木のそばの召会で生活している、と答えなければなりません。わたしたちの召会生活は今日のベエル・シバです。主が再来される前に、年長の人たちの何人かはベエル・シバ、召会生活を去り、ヘブロンで死に、そこで新エルサレムを待つでしょう。ヘブロンは神との交わりの場所であるだけでなく、エルサレムへの途上でもあります。ヘブロンのマクペラの洞穴は、新エルサレムへの門です。おそらくある日、わたしたちはサラが、「わたしはマクペラの洞穴に入った時、新エルサレムへと通じる門に入りました」と証しするのを聞くでしょう。サラはマクペラの洞穴に葬られただけでなく、今そこで眠っており、目覚めて新エルサレムの中に自分を見いだす日を待っています。

## アンドリュー兄弟の奉仕に対するリー兄弟の感謝

リー兄弟は1994年11月18日に、リビングストリームミニストリーのオフィスでの奉仕者との交わりにおいて、からだの中でのリー兄弟に対するアンドリュー兄弟の奉仕に関して次のように言いました。

わたしは三十年以上もの間、オフィスで聖徒たちの間で奉仕してきました。わたしはほとんど常に、何人かの人と肩を並べて共に働いてきましたが、どの聖徒たちとも天然の関係や友情を持っていません。わたしは高齢でしたが、主が特別な方法でわたしと共に奉仕するための、何人かの若い聖徒たちをもたらしてくださったことのゆえに、主に感謝しています。わたしは1984年に極東に行き、しばらくそこにとどまるようにという導きを受けた時、すでに八十歳でした。このゆえに、旅行することはわたしにとって困難な仕事であり、わたしには助け手が必要でした。わたしは決して他の人にその必要性について言及しませんでした。主はある兄弟を与えてくださいました。その兄弟は来て、わたしにこう言いました、「リー兄弟、わたしはあなたと共に行って、パスポート、小切手、チケット、あなたが必要とする他のどのようなものも手配することを含めて、実際に案配することによって、あなたを助けたいと思っています」。彼は多くの実際的な事柄を顧みました。わたしと共に奉仕するように、主がこのような人をもたらしてくださったことのゆえに、わたしは主に感謝し続けています。

どのような雇われた人も、この兄弟がわたしを顧みてくれたほどに、わたしを顧みることができるとは、わたしは思いません。わたしが台北にしばらくとどまる願いを表明したその日から、彼はあらゆることにおいて、わたしを顧みてくれました。だれが、この事がどういうことであるのかを描写することができるでしょうか？ このような労苦と奉仕は、ビジネスの中で存在するのではなく、主のからだの中で存在します。(リー全集、1994年-1997年、第2巻(上)、「リビングストリームミニストリーのオフィスでの奉仕者との交わり(英文)」)

## 台湾の安息集会でのベンソン・フィリップス兄弟の語りかけ

わたしたちのアンドリュー兄弟は彼の生涯を、二つの時期で時代の務めのためにささげました。二十年以上、彼は父親に対する息子のようにリー兄弟に仕え、リー兄弟の務めを遂行することを助け、リー兄弟とリー姉妹を実際的に世話しました。アンドリュー兄弟はリー兄弟に対する彼の奉仕の一部として、リビングストリームミニストリーのオフィスを監督しました。しかし彼はまた個人的に、ウオッチマン・ニー全集の翻訳、編集、出版において奉仕しました。これらの事を行なうことで、わたしたちのアンドリュー兄弟は実際において主に仕えていました。また彼は至る所の地方召会で、わたしたちすべてのために顧みていました。

1997年にリー兄弟が主の所に行った後、アンドリュー兄弟は彼の残りの生涯を、再び二十年以上この務めにささげました。彼はウイットネス・リー全集におけるリー兄弟の務めの完全な公開を監督しました。今や時代の務めのこれら二つの大いなる働きは完了し、わたしたちは今日それらを手にしています。彼の奉仕を通して、ニー兄弟とリー兄弟の働きは来たる世代のために存続しています。わたしたちはこのことのゆえに、主を賛美します。わたしたちはまた、この愛すべき、忠信で、効力のある奉仕者をわたしたちに与えてくださったことで、主に感謝します。彼はこの務めをわたしたちすべてにもたすことを助けてくれました。

わたしたちのアンドリュー兄弟の奉仕は今や、この務めを通してわたしたちすべてを助けており、彼の奉仕はキリストのからだの建造を助け続け、時代の満了に至ります。たとえわたしたちがこれを認識しないとしても、また、たとえアンドリュー兄弟がここでこれを見ることできないとしても、主は確かに知っており、確かに見ており、主は義なる褒賞を与えてくださいます。

わたしたちのアンドリュー兄弟はまた特別な負担を持って、新しい道を見だし、この務めを聖徒たちと追い求める者たちに渡しました。わたしたちはこの事柄で、彼の方向性と助けを失うでしょう。彼はアメリカ合衆国において、またヨーロッパ、インド、アフリカ、中東において、この務めを広く配布するために、決して労苦を惜しみませんでした。全地の至る所で多くの奉仕者たちは出版と配布の働きにおいて、彼によって成就されてきました。今やわたしたちは彼の負担を取り上げて、全地の主の最新の語りかけを広げ

なければなりません。主はわたしたちの愛するアンドリュー兄弟を、彼の奉仕において忠信なものとされました。主を賛美します！ わたしたちのアンドリュー兄弟のように、わたしたちがみな自分の生涯をささげて、わたしたちも主の回復の中で主に対する奉仕の中で、忠信なものとされることができますように。

## ジェラルド・チェン兄弟の証し

アンドリュー兄弟の生涯を振り返ることは、わたしたちの時代における人類歴史の中の神聖な歴史を見ることです。

アンドリュー兄弟は、香港で生まれ育ちました。ニー兄弟のように、アンドリュー兄弟は英国国教会の学校に通い、おもに英語で授業を受けました。彼の教育環境のゆえに、彼は中国語と英語の能力に基礎を据えました。これは、彼が主のために語ることに彼の翻訳作業にとって非常に貴重であったことがわかります。

1960年代の香港に在る召会では、聖霊が何人かの若者を主へと分離するために働いていました。その霊は彼らを救いに導くための聖別の霊として彼らの所に来ました。その霊は北からの暴風として彼らの所にやって来て(エゼキエル 1:4)、彼らに神を求めさせ、献身させ、神の召しに答えさせました。その霊はまた、リー兄弟が務めをしていたロサンゼルスに在る召会に彼らを移しました。わたしの知る限り、アンドリュー兄弟は極東から、特にリー兄弟の務めの下にいるためにロサンゼルスに行った最初の人でした。厳密に言えば、アンドリュー兄弟がそこに行くことは、ロサンゼルスでのすばらしい召会生活のためでも、当時の若者たちの中での神の重大な行動のためでもありませんでした。極東の諸召会が時代の務めについてまだはっきりしていなかった時、アンドリュー兄弟はすでにリー兄弟の語りかけの下にいたいという感覚と願いを持っていました。

1969年に彼は信仰によってアメリカに行きました。だれからの支援も受けず、自分が何をすることも知らずに行きました。彼は全時間で主に仕えたかったのですが、リー兄弟は彼に大学に行って卒業するように言いました。彼はそのようにして、数学の学位を取得しました。1970年代半ばに、彼は香港に戻り、そこで主は彼を用い始めました。彼が主に仕えた当初から、彼の奉仕は主の行動に対する世界情勢の鋭い感覚と機会をつかむことにおける彼の大胆さによって特徴づけられていました。彼は中国の開国を早くから認識し、聖書を中国に持ち込む努力を案配するのに尽力しました。その時、中国の信者の数は爆発的に増加していました。ウオッチマン・ニー兄弟の時代に召会にいた忠信な聖徒たちの残された者[レムナント]と子孫、そして新しく救われた人たちが集会を始めていましたが、聖書の印刷が禁止されていたため、彼らには神の言葉がありませんでした。アンドリュー兄弟は歴史の中でその瞬間を認識するのに鋭敏でした。西洋からの多くの聖徒が聖書を運ぶ働きに参加しました。アンドリュー兄弟自身も、その後

の数年間、中国の諸召会を顧みるために何度も中国を訪れました。彼は彼らを現にある真理に対する理解において最新のものにし、彼らをブレンディングして一とならせ、地方の証し、また宇宙的なキリストのからだの一部とならせました。

1982年にリー兄弟は、アンドリュー兄弟に彼の付き添いを含む、全時間で奉仕するように頼みました。アンドリュー兄弟は、全時間の訓練の開始、神の定められた道における召会生活の実行、台湾の福音化、反対者や異議を唱える者からの攻撃を受けている召会の顧みなど、台湾とアメリカの両方でリー兄弟の負担を遂行しました。彼はリビングストリームミニストリーの運営を監督し始め、ニー兄弟の集會にいた聖徒たちが書き取ったニー兄弟の語りかけの手記の利用可能な残っている物をすべて集めることに着手しました。彼は個人的に、ウオッチマン・ニー全集の中国語から英語への翻訳の大部分を行ないました。ずっと、彼はリー兄弟と一緒に旅行し、リー兄弟の働きにおける導きを遂行しました。アナハイムにいる間、アンドリュー兄弟は、時代遅れで特大のフォードステーションワゴンでリー兄弟を集會に送迎しているのをよく見られました。リー兄弟は車自体のためではなく、リー兄弟にそれをささげた親愛な兄弟の心のためにその車を大切にしました。その車は、ピリピ人への手紙第4章に見られるような、信者と使徒の間の甘い交わりの証でした。

1997年にリー兄弟が亡くなったことは、主の回復の大きな転換点でした。半世紀の間、リー兄弟は東洋と西洋の両方で回復のおおいと導きを提供しました。リー兄弟が不在の中、回復はどのように進むのでしょうか？ それはリー兄弟の後継者となるのはだれかと幾人かが推測していた時期でした。アンドリュー兄弟は、ウオッチマン・ニー兄弟とウイットネス・リー兄弟の務めからの資料のみで構成されたアウトラインを使用する方法でわたしたちを導きました。これはこの二人の兄弟の働きがこの時代における神の語りかけであるということの強い肯定でした。この実行は、自分の言葉を語りたいたいと思ってきた者たちへの扉を閉ざしました。それは、主の回復を一つ思いの中に守ってきた主要な要因であり、今もなおそうです。二十年以上の間、主の回復はこのように実行してきました。わたしたちは、神聖な啓示を開くその務めからの言い尽くせない豊富を絶えず、そして常に新鮮に供給されなかったことは一度もありません。

幕屋において、枠板は隅で二重にされなければなりません(出 26:23)。主が方向転換するとき、追加の支援が必要です。アンドリュー兄弟は、地上での主の行動の多くの転換点で力と安定要因となることで回復に仕えてきました。

主の働きにおいて、アンドリュー兄弟は福音の宣べ伝え、召会の拡張開展、務めの

普及に執拗に取り組みました。他の人がそれは不可能であると思ったとき、彼は可能性を見ました。彼は、東南アジア、インド、中央アジア、イスラエル、アフリカ、アラビア語圏、そして最近ではドイツに、その務めと召会生活を広めるために労苦しました。彼は多くの兄弟姉妹に、これらの場所に行って奉仕する負担を取るよう勧めました。多くの聖徒は、アンドリュー兄弟の励ましのゆえに、主に仕えるために世界の遠く離れた場所に行ったという証しを担うことができると思います。アンドリュー兄弟は人々を送ることに加えて、聖書の回復訳と務めの書物を多くの言語に翻訳することにおいて確固でした。彼は主に仕えた初期のころから、印刷された言葉はわたしたちが行けない所に行き、わたしたちができないことをするといつも言っていました。

わたしは最近、華語の特別集会の中でのアンドリュー兄弟の語りかけを見ました。その中で、聖霊は力強く働いて、聖徒たちが自分の一生を主にささげていました。彼の語りかけを見ていると、わたしは聖霊の流れが妨げられていない人を見ました。彼の語りかけは、その霊の力強い流れ出し、また注ぎ出しでした。彼は、もし信者が生涯の中で一度でも聖霊の行動と一である経験を持つなら、その人の人生は大きな価値があると言いました。アンドリュー兄弟の語りかけの中にわたしが感じたのは、エルサレムからアンテオケへ流れ、そして何世紀もかけてウオッチマン・ニー兄弟とリー兄弟へと届いた流れでした。それは新エルサレムへと流れる唯一の流れです。アンドリュー兄弟の語りかけは、新エルサレムを視野に入れました。その見方は、聖徒たちがその究極的完成のためにこの世を捨てて主に生きる動機を与えました。

アンドリュー兄弟は主によって大いに用いられたにもかかわらず、わたしは彼の中に、主が彼を通して行なったことを、まるでその働きが自分の働きであるかのように、自分が行なってきたもの、あるいは自分がその所有権を持っているかのように、自分のものになっているという感覚を決して感じたことはありません。彼は力を示し、多くの事を行ないましたが、常に純粹で清潔でした(ダニエル 11:32)。彼は彼の時代のはるか先を行っていたので、ときどき誤解されました。彼は一度も保身に走ったことはなく、自分自身を擁護したこともありませんでした。彼は彼の時代の先を行っていましたが、その霊の先に行くことはありませんでした。彼の働きの成果は時には、数年後になってはじめて現れ、証しを担いました。

アンドリュー兄弟は、世界中の主の多くの主要な行動においてリードを取っていたにもかかわらず、彼の周囲の聖徒たちを顧みました。彼は一対一の牧養を非常に重要視しました。彼はわたしたちに、他の人に自分の所に来るように要求するのではなく、他の

人の所に行くようにと命じました。彼は心の広い人であり、彼の心は厄介な聖徒たちも含め、あらゆる種類の聖徒のための余地がありました。彼は成長のつらく険しい段階を経験していた若者たちを顧みました。わたしの息子が十代のとき、アンドリュー兄弟はひと夏、わたしの息子を彼の家に住ませることを申し出て、わたしの息子を牧養してくれました。アンドリュー兄弟は、アナハイムで奉仕している人たちの子供の保護と教育に対する懸念から、これらの子供たちを顧みるためにアケシアウッドスクールの設立に積極的にかかわりました。

アンドリュー兄弟が脳卒中を起こしてからの過去数年間、彼は制限を受けていました。彼はパウロのように、主に大いに用いられた後、恵みの経験にもたらされるように肉体にとげを残されました。聖霊は旧創造のはぎ取りと新創造をもたらすための更新を続けました。リー兄弟が人生の最後の段階にいた時と同じように、アンドリュー兄弟はただキリストを生き、キリストの中に見いだされ、主との一つ霊を生きることだけを心配していました。アンドリュー兄弟に不平不満はありませんでした。彼が後悔していた一つのことは、キリストを生きることの不足でした。彼の霊は、わたしたちがリー兄弟の人生の終わりに触れたのと同じ霊でした。彼はキリストを生き、キリストを追い求め、キリストを大きく表現するだけの人でした。彼は年二回の訓練のメッセージで享受したことについて語りました。わたしたちは主の現在の語りかけに関して交わりました。パウロのように、彼は開かれた器になりました。ヤコブのように、彼は神のイスラエルになりました。

最後に、彼は確かに自分が衰弱しつつあることを知っていました。彼はわたしに死を恐れていないと言いました。1996年、わたしたちが協力してリー兄弟の埋葬地を準備していた時、それは今日のグレーステラスですが、リー兄弟は、マクペラの洞穴を新エルサレムへの入り口として多く語りました(創 23:9)。アンドリュー兄弟は彼の人生の中で、新エルサレムを生かし出し、成し遂げました。アンドリュー兄弟は自分の行程を走り終えた一人として、働きから解かれて安息していますが、それでもなお、土台のある都を熱心に待ち望んでいます。その設計者と建築者は神であり、それは神の神聖なエコノミーの究極的完成である聖なる都です。わたしたちが愛している神、わたしたちが信じている神は、復活の神です。

## アナハイムに在る召会の長老たちからの

### 哀悼と感謝の手紙

2020年12月21日

親愛なるマリリン姉妹、ジョン兄弟、アンナ姉妹

わたしたちがこの手紙をもって示したい事は、親愛なるアンドリュー兄弟が亡くなられたこの時に、わたしたちの深い弔慰と関心をもってあなたがたを慰めることであり、それと同時に、彼の生涯のゆえに賛美と感謝をもってあなたがたを強めることでもあります。彼の生涯は、神の新約エコノミーに完全にしがたって生きた生涯であり、その生涯は今やわたしたちすべてを強く召して、啓発し押し迫る彼の模範に従わせます。

第一にわたしたちは、あなたがたの愛する夫また父が亡くなられたこの大いなる損失の時に、わたしたちの愛する主があなたがたを供給してくださるよにとのわたしたちの願いをお伝えしたいと思います。どうか主があなたがたを並外れて元気づけ、慰め、強めてくださいますように！わたしたちの信実な神がそのように行なってくださいと、わたしたちは強く確信しています。アンドリュー兄弟が主と主の回復に対する彼の勤勉な奉仕においていつも忠信であったように、またあなたがたがアンドリュー兄弟の奉仕のために、彼と共に忠信に立ち、労苦したように、今や主が信実にあなたがたと共にいてくださり、あなたがたのあらゆる必要に応じてくださると、わたしたちは信じています。

第二にわたしたちは、マリリン姉妹、あなたの長年にわたる結婚生活と家庭生活において、また特にアンドリュー兄弟が厳しい健康面の課題に直面した最近の数年間において、あなたのアンドリュー兄弟に対する不断の顧みすべてのゆえに、あなたに感謝したいと思います。多くの時わたしたちは、彼の大変な労苦への実際的な支えに対して、何かを提供したいと願っていました。しかし、環境がこの事を許さなかったとき、わたしたちが知ったのは、あなたの包括的で絶え間のない愛に満ちた労苦が、彼の健康と体力が衰えつつあった時にも、彼が奉仕し続けることを可能にした要因であったということです。この事のゆえに、本当に感謝します！

第三にわたしたちは、わたしたちがアナハイムに在る召会に仕える時、いかにアンドリュー兄弟がわたしたちに対して大きな支えであったかを確認したいと思います。彼の他の

多くの責任のゆえに、彼が身体的にわたしたちと共にいることができなかつた時も、わたしたちはみな彼をわたしたちの長老仲間と考えています。わたしたちは、アンドリュー兄弟が召会のために継続して祈り考慮してくださっていたことを知ることによって、わたしたちの奉仕において常に強められ、励まされてきました。彼の助言は、いつもわたしたちにとって言い表せないほどの価値がありました。わたしたちは、アナハイムに在る召会が何十年にもわたってアンドリュー兄弟にとって「神のパラダイス」であったことと、彼の強め、また導く交わりが、わたしたちの多くにとってアナハイムに在る召会が「パラダイス」であることの助けであったこととを、信じています。

第四に、わたしたちが強く言い表したいわたしたちの感覚とは、アンドリュー兄弟が亡くなられても、わたしたちは新鮮な励ましで満たされていることと、わたしたち自身の命の円熟を追い求め、キリストを生きてキリストのからだの実際をもたらすこととを決意しているということです。それは、主の回復において一人の新しい人を出現させるためであり、またこの時代の満了のために主の花嫁の用意を整えるためです。わたしたちは、アンドリュー兄弟が召会の中だけでなく、務めや働きにおいても導いてくださったことに対して、永遠に感謝します。彼は、主ご自身の地上での生活を忠信に反映し、繰り返しました。そしてわたしたちは、彼が亡くなられた事が、そのような多くの神・人を生み出すことになることと信じています。彼の尊い模範と、また彼が亡くなられたこの時にわたしたちがこの模範を実行することによって、わたしたちすべては啓発され、主と主の回復へと新鮮に自分自身を献身することになるでしょう。

わたしたちの間でアンドリュー兄弟が生きた生活をわたしたちが思い起こすことによって、どうかわたしたちの残されたすべての日々が、啓発され、強められ、前に向かって召されるものとなりますように。

最も深い哀悼と感謝をもって  
アナハイムに在る召会の長老たち